

平成27年度 第1回 千葉県博物館協議会会議 議事録要旨

日 時：平成27年7月14日（火）13：00～15：00

会 場：千葉県立関宿城博物館 集会室

出席者：委 員 — 岡本委員（議長） 西田委員（副議長） 鵜澤委員 水嶋委員
細井委員 齊藤委員

博物館 — 美術館：田村館長 中央博物館：萩原副館長
現代産業科学館：小野館長 関宿城博物館：金丸館長
房総のむら：安藤館長

文化財課— 植野学芸振興室長

【議事概要】

1 開 会

2 館長あいさつ 関宿城博物館長によるあいさつ

〈委員紹介 各館長・文化財課室長紹介 日程説明 関宿城博物館概要説明〉

3 議 事

（1）学校教育への博物館の学習支援のあり方について

議 長：今回は、関宿城博物館の取り組みについて協議します。では、協議テーマについて説明してください。

関宿城博物館：（配布資料説明・概要説明）

議 長：10項目に亘る学習支援の取り組みの説明があったが、各委員から意見をいただきたい。

委員 A：ほとんどの事例が野田市内の学校に限られているようだが、野田市以外からの要請はないのか。

関宿城博物館：船橋市の小学校から学習キットの借用があった。

委員 B：水・川を取り上げた、この素晴らしい博物館にもっと県民に来てもらえるような手法があるとよい。

委員 C：館のテーマは関宿の歴史や水運・治水などであるが、川に関わる博物館活動において、社会科などの文系教科ばかりでなく、理系教科のアプローチがあってもよいのではないか。

例えば、川の氾濫の事象から「測量」という数学的知識が生まれるので、「川を渡らずに川幅を測るにはどうしたらよいか」という課題を出してみるとか、川や河川敷での動植物の観察なども加えていってはどうか。

委員 D：学校教育との連携を考えると、館の立地条件から千葉県にこだわらず、県外の市町

村との連携を考えてはどうか。

議長：地の利が悪いが、以前県外からの来館者が多いと聞いたことがある。他県へのアプローチはどう考えているのか。

関宿城博物館：平成25年度のアンケートより、入館者数は埼玉県が約1/3、千葉県も約1/3、続いて茨城県である。

広報活動は県内のほか、県外にも多く行っている。さらに、野田市の小中学校の校長会へ出向き、学習支援に関する情報を提供している。

委員A：地元の巡回バスを利用してはどうか。

関宿城博物館長：野田市にも巡回バス（まめバス）がある。しかし館を巡回するのは平日だけである。戦後70周年を記念して8月に野田市で、鈴木貫太郎記念館、関根金次郎記念館、関宿城博物館のスタンプラリーを実施するので、その期間中に増便を計画している。土・日もまめバスを運行するので、好成果を得て今後、土・日の運行が開始するとよい。

委員D：つくば市では、市内の施設を見学してまわる探検バスを毎日実施している。そういう事例を参考にしたらどうか。

委員E：交通の便は悪いが、環境では地の利がよい。昔は船で栄えたのだから、企業とタイアップして、東京からのクルーズの中継地としての振興などを考えたらどうか。博物館資料が、どの教科のどの単元と関連するのかといった一覧表を作っておくと利用促進につながる。自然を含めた地域理解のための副読本作りを館中心で進めたらどうか。また、展示の中には、小さい写真と漢字がいっぱい展示解説があり、子どもには難しいので、ホームページで小さい写真を大きくして利用促進を図ってみてはどうか。

議長：学校教育への学習支援の取り組みはどの館も同じだが、江戸川の流頭部を見せるなどのフィールドワーク的要素が広がっているので、博物館自体が全体的なサテライトとして存在すると考えてはどうか。外観を含めた捉え方をし、館だけの売りでなく、関宿地区の売りにし、他県から人が多く来られるようなしくみを作るとよい。

関宿城博物館：「城下を歩こう」というフィールドワークを実施している。また、茨城県境町に観光用の遊覧船が運航し、観光客を呼び込んでいる。

委員D：この博物館はロケーションがよいので、成田市が管理している坂田が池公園（キャンプ場）のように、野田市に働きかけて、館周辺の利用方法を検討したらどうか。

関宿城博物館：館周辺には野田市管理のにこにこ水辺広場、江戸川河川事務所管理の中之島公園があるので、よい形で連携を図っていきたい。

議長：学習支援以前の重要なテーマとして、館のプロモーションを県が考えていくべきではないか。

学芸振興室長：館内だけでなく、外部からの柔軟なアイデアが必要である。そこで、観光部局との連携を図ったりすることはできる。地方の取り組みを国が支援する方向にあるので、様々な取り組みをしたい。

議長：館の素晴らしいロケーションを利用して、今までの発想から転換することにより、学校支援につながっていけばよい。

学芸振興室長：平成7年に当館が開館したことにより人が集まり、トイレの数が足りなくなって増設したり、駐輪場を作ったりしている。館ができたことで、費用対効果は出ている。

議長：国交省からの援助はないのか。

関宿城博物館：国交省からの支援はないが、友の会員として利根川上流河川事務所と江戸川河川事務所の所長が加入しており、講演などの協力はある。

議長：大阪府立狭山池博物館に関わっているが、今までにない発想で設立した博物館である。この館は、大阪府の農政部局から支援されている。当館でもそういうのがあるとよい。

学習支援から離れての館の根本的な質疑応答だったが、それがいずれは学習支援にもつながっていくことと思う。

議長：そのほかに議事として、取り上げたいことはございますか。

ほかに議事は無いようですので終了し、事務局へ進行をお返しします。

事務局：〈閉会あいさつ・次回案内〉